

JACET-Kansai Newsletter

No. 46 January 31, 2009

社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 木村 博是 (近畿大学) (Chapter President: Hiroshi Kimura, Kinki University)

事務局: 〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学国際コミュニケーションセンター 石川慎一郎研究室
(Chapter Office: c/o Dr Shin Ishikawa, School of Languages & Communication, Kobe University)

E-mail: jacetkansai@gmail.com URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

Change!

事務局幹事 石川慎一郎

■Change!

米国のオバマ新大統領の誕生によって、一躍、出現頻度があがった英単語があるとすれば、その一つは **change** でしょう。しかし、**change** はなにもオバマ大統領の専売特許ではなく、わが JACET 関西支部も、木村支部長の発表された「支部改革アクションプラン」に基づき、さまざまな **change** に取り組んでいます。

本稿では、昨年度から行われているさまざまな改革、および、4 月から着手される新たな改革について、事務局より経過と進捗をご報告します。

We have changed.

■支部事務局の体制が変わりました！

支部事務局は支部運営の実務を担う組織ですが、より効率的で機動的な運営を可能にするため、2008 年度より以下の改革を行いました。

(1) 副支部長の新設

支部長を補佐し、支部活動を統括するために、副支部長ポストが新設されました。

(2) 幹事増員とセクション制の導入

従来、支部事務局は若干名とされ、幹事は様々な仕事を同時にこなしていました。しかし、法人化に伴う事務量の増大に対応するため、2008 年度より事務局体制を一新し、総務、広報・紀要、会計の 3 セクションを置き、それぞれのセクションに正副 2 名の幹事を配置することになりました。これにより、幹事の職掌と責任体制が明確化されました。

(3) 幹事任期の運用方針の変更

規約では「1 期 2 年」とありますが、従来は 2 期継続して務める慣習がありました。しかし、できるだけ多くの会員が支部運営に関わるべきという考え方から、幹事職は原則として 1 期交代という方針を申し合わせました。

(4) 紀要編集委員会と事務局の連携強化

支部の研究活動の顔となる紀要編集の効率化を進めるため、副支部長が紀要編集委員長を、広報・紀要担当幹事が紀要編集委員会事務局長を兼務するようにシステムを変更し、紀要編集委員会と事務局の連携を強化しました。

■支部講演会が変わりました！

関西支部は年間 3 回の講演会を行っております。かつては 3 回とも招聘講師講演でしたが、支部仲間の研究を知ること重要であるとの観点から、3 回のうち 2 回は支部研究会主催のシンガ形式での講演、1 回は従来型の招聘講師による講演としました。2008 年度には、学習英文法研究会と ESP 研究会が発表を引き受けてくださり、いずれも盛会となりました。

また、支部講演会については、会員の参加の便と地域バランスを第一に考え、原則として 3 回の講演会をそれぞれ京都・大阪・神戸の駅前会場で開催するように改めました。

■会員の皆様への広報手段が変わりました！

2008 年度後半より、支部独自のメールによる情報配信サービスを開始しました。これまでに、大会発表や紀要投稿の申し込みの案内、また、地区の大学の求人情報などが配信されています。今後、ニューズレターを補完するものとして、メールサービスのいっそうの充実を図る予定です。

We will change.

■支部大会が変わる！

ご存じの会員の先生方も多いと思いますが、全国の支部の中で、支部大会を年に 2 回行っているのは関西支部だけです。こうした活発な研究活動の伝統を継承し、さらなる展開を図るため、新年度より以下の改革を行います。

(1) 大会時期の変更

他学会の大会時期を調査し、会員ができるだけ参加しやすくなるよう、春秋の大会時期の見直しを行いました。新年度からは春季大会は 6 月後半に、秋季大会は 11 月後半に開催されます。

また、全国大会の発表申し込みとの時期的重複を避け、新年度入会者にも発表チャンスができるよう、今後、春季大会の発表申し込みは年度開始後に変更されます。詳細は近く発表されますので、奮ってのお申し込みをお願いします。なお、従来春季大会時に行っていた支部総会は、翌年度の行事・人事・会計の審議を行うため、秋季大会時に変更されます。

(2) 新しい発表形態の採用

従来の発表枠は研究発表とワークショップだけでしたが、新年度より、研究発表／ワークショップ／コロキウム／ポスター発表の4種類になります。コロキウム枠の新設によって、研究会やグループ単位での申し込みが行いやすくなります。また、工学系学会などでおなじみのポスター発表枠の新設によって、より多くの会員に発表機会を提供することが可能になります。(詳細は研究企画委員長報告をお読み下さい。)

(3) 発表済み論文に紀要枠が新設されます。

支部研究紀要の中に「大会発表済み論文枠」が新設されます。これにより、<まず、大会で研究発表を行い、フロアとの質疑で研究内容をさらに掘り下げ、最後に論文としてまとめて投稿する>という一連の流れが明確になり、支部研究活動の一層の活発化が期待されます。なお、「大会発表済み論文枠」の対象となるのは、原稿応募時より過去1年以内に開催された支部および全国大会です。

■支部紀要が変わる！

支部紀要も改革されます。まず、委嘱原稿枠が新設されます。これにより、支部大会や支部講演会での講師のご講演内容を紀要に掲載させていただくことが制度上、可能になりました。次に、上述のように、「一般投稿論文枠」と「大会発表済み論文枠」が新設されます。支部大会と支部紀要の連携性が高まり、両者の一層の活性化が期待されます。

■会員の皆様の声をお届けください

最近はこの組織もいささか強迫観念的に「Change」や「改革」を叫びます。しかし、改革が定着し、具体的な結果が出るまでには、多くの場合、時間と忍耐が必要であるようです。

関西支部の改革はまだ緒に就いたばかりですが、なんとか改革が具体的な実につながるよう、正副支部長のご指導の下、事務局でも取り組みを推進して参りたいと存じます。支部会員の先生方のご理解とご支援、また、支部活性化のためのご意見・ご提案をぜひとも賜れますようよろしくお願い申し上げます。

The change we seek has always required great struggle and great sacrifice. And so this is a battle in our own hearts and minds....Change will take time. There will be setbacks and false starts and sometimes we'll make mistakes. But as hard as it may seem, we cannot lose hope....(オバマ候補勝利演説より)

■ 研究企画委員会の新動向 ■

一支部大会の新情報ー

研究企画委員長 東 眞須美 (神戸芸術工科大学)
副委員長 川越 栄子 (神戸市看護大学)
井村 誠 (大阪工業大学)

これまでの関西支部研究企画委員会もそうであったように、現在の研究企画委員会も支部活動のさらなる活性化を目指しています。支部活動が生き生きとしたものであるには、会員の皆様のエネルギーがその源となり、それを支部大会、その他の活動で発揮していただくことが必要です。その一助を担うのが支部研究企画委員会であると心得ています。

社団法人化にともない、JACETの機構・運営が従来とは変わりました。また、最近の研究分野・興味も多様化してきています。このような環境の変化を踏まえ、関西支部研究企画委員会ではこれまでの企画・運営の総点検を行い、新動向を模索しています。その一端がここに述べるものです。新動向の模索において、参考にさせていただいたのが、大会での発表、および、アンケート回答です。神戸大学で行われました2008年秋季大会では従来にも増して多くのアンケートの回答をいただきましたことは大いに新動向模索の参考になりました。ご回答にお礼申し上げます。

研究企画委員会で検討してまいりましたことからは、研究企画委員会のありかた、支部活動の内容と運営など多岐にわたります。就中、研究企画委員(現在26名)の主な任務は支部の研究の推進、会員の発表や意見の交換の場をいかに皆様の要望に沿った内容と形で設定し運営するか、であろうと認識しています。今後もこの努力は続けてまいりますが、会員の皆様の御意見・御要望(例えば、大会のときのアンケート回答など)は改善点の御示唆となりますし、大会への参加という形での御協力は何にも代え難い御支援となります。

大会に関することで、企画委員会で議論の対象となりました第1点目は大会の年間開催回数です。これにつきまして2008年秋季大会のアンケートでは約67%の回答が2回開催に賛成でした。年間に2回支部大会が開催できるというのはひとえに会員の熱意と努力のおかげであり、関西支部の強みです。第2点目は大会におけるイベントの再検討です。従来、会員による発表(研究発表、実践報告)、ワークショップと企画委員立案による全体シンポジウム、あるいは、講演の企画でした。今回秋季大会のアンケートでのフィードバックによりますと、大会テーマ、研究発表・実践報告、ワークショップ、シンポジウムにかなりの評価をいただきました(4点評価で3.0~3.4)。今後の大会テーマ、シンポジウム、会場などへの御要望も真摯に受け止めております。

■ 2009 年度 関西支部春季大会 ■

<発表応募要領>

さて、支部大会に関する新動向として、企画委員会は何度かの議論の末、その第1歩を踏み出します。会員の皆様に重要と思われる新情報は発表形態の再編（下掲）です。従来は口頭発表（研究発表・実践報告）、ワークショップとなっていました。支部活動の活性化に繋がるようにという願いで多様な発表形態の区分を提供し、発表数の増加を指向します。

	発表枠区分		時間
	口頭発表	研究発表 実践報告	20分+10分質疑応答 20分+10分質疑応答
発表形態	ポスター発表	ポスター	昼食時間を挟む1時間
	ワークショップ*		90分
	コロキウム*		90分

*ワークショップは本来のワークショップ的なもの、コロキウムはシンポジウム的なものを指します。研究企画委員が企画する全体シンポジウムと区別するため、コロキウムと呼ぶこととなりました。

応募の際にはいずれかの発表枠に応募していただくことになります。応募資格等は従来どおりです。応募していただいたあと、研究企画委員会では、大会に向けて、発表内容、時間的調整などを行いますが、そのときには発表枠のどの区分に対する応募も平等な基準で審査いたします。是非、多様な内容の発表をしていただけますように期待しております。

2009 年度春季大会の場合には前述のアンケートの回答に 2008 年度秋季大会のシンポジウムテーマ「大学生の英語力の現状にどう対応するか」に対する反響が大きく、さらに、秋季大会で発表された大学とは異なる大学の状況も知りたいという要望がありましたことに鑑み、大会テーマとして「大学生の英語力の現状にどう対応するか (II)」を予定しています。上述の発表区分のいずれかに、この方面の発表をしていただけますよう、期待いたしております。

最近、英語教育学、言語学、応用言語学、その他、関連分野の研究、学際的研究、実践が多く行われております。その御研究・実践を是非、会員の皆様にご披露いただき、皆様と御研究・御考えを分かち合ってくださいとともに、ご自身へのフィードバックを得る機会にいただければと願っております。

2009 年春季大会への応募時期は 2009 年 4 月 1 日(水)から 18 日(土)です。応募は JACET 関西支部ウェブページ <http://www.jacet-kansai.org> から行ってください。会場は京都外国語短期大学、開催日は 6 月 27 日(土)です。御応募お待ちしております。

会員の皆様の発表のチャンスとして、関西支部での発表と支部紀要との連携も試みることにしております。詳しくは支部紀要の応募情報をご覧ください。

2009 年度 JACET 関西支部春季大会は、6 月 27 日(土)に京都外国語短期大学にて開催されます。この大会でのワークショップ・コロキウム・研究発表・実践報告・ポスター発表を募集致しますので、発表をご希望の会員の方は、次の要領で関西支部事務局までご応募ください。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1. 発表は英語教育および関連分野に関する内容で、未発表のものに限りします。
2. 研究発表・実践報告は、発表が 20 分、質疑応答が 10 分、合計 30 分の形式になります。ワークショップ、およびコロキウムは 90 分、ポスター発表は 60 分 になっています。
3. 応募者は、以下の情報を JACET 関西支部ホームページ (www.jacet-kansai.org) の「発表申込みフォーム」より入力してください。

A) 応募情報

- a)発表形式: ワークショップ、コロキウム、研究発表、実践報告、ポスター発表の別を選択してください。
- b)発表題目 (日本語と英語)
- c)発表者情報 (共同発表は氏名と所属のみ) : 氏名 (漢字とローマ字)、所属 (日本語と英語)、E-mail
- d)発表に使用する言語 (日本語、もしくは英語)
- e)使用希望機器 (無い場合は「なし」を選択)

- B) 発表要旨 (目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等) 日本語の場合は 800 字程度、英語の場合は 300-400 words、無記名とする。【※重要】文字数を厳守してください。

※申込み入力確認を、入力いただいた E-mail に一両日中に自動返信します。万一、連絡がない場合は事務局までご一報ください。

- 4.申込応募期間: 2009 年 4 月 1 日(水) ~ 4 月 18 日(土) 午後 11 時 59 分
5. 選考は選考委員会にて行います。
6. 選考結果は、締切り後 1 ヶ月程度で E-mail あるいは封書にて通知します。
7. その他: ワークショップ・コロキウムの詳細については、事務局までお問い合わせください。

CALL FOR PAPERS

The 2009 Spring Conference of the JACET Kansai Chapter will be held at Kyoto Junior College of Foreign Languages on Saturday, June 27. Members of the JACET Kansai Chapter are invited to present proposals for research papers, reports on classroom activities, poster sessions, workshops, and colloquiums. Conditions and procedures for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
 - 2) A research paper or a report on classroom activities should consist of a 20-minute presentation and a 10-minute Q & A period. Workshops and colloquiums are allotted 90 minutes, and poster sessions entail a 60-minute period for explanation.
 - 3) Proposal forms A and B are available on the JACET Kansai Web site (www.jacet-kansai.org).
 - A) Application form:
 - a) Type of proposal (research paper, report on classroom activities, poster sessions, workshops, or colloquiums); b) Title of proposal; c) Information about applicant: name, affiliation, e-mail address; d) Language for presentation (English or Japanese); e) Equipment required.
 - B) Abstract: anonymous; 300-400 words. (Mention should be made of the purpose of the research, background, methods, conclusion, references.)
- ※ Acknowledgment of the receipt of your proposal will be sent by e-mail within two days after its receipt. If you do not receive an acknowledgment, please inform the office as soon as possible.
- 4) Submission period for proposals: From April 1 to 18, 2009.
 - 5) Selection of the proposals will be carried out by the Reviewing Committee.
 - 6) Notification of acceptance will be sent from the office within a month after the deadline.
 - 7) With regard to workshops and colloquiums, please contact the JACET Kansai Chapter Office for details.

■ 2008年度関西支部第3回講演会 ■

今年度の第3回講演会を以下の要領で開催します。
奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

日時：2009年3月1日（日） 15時30分～17時

場所：関西学院大学大阪梅田キャンパス1405教室

講師：河上誓作氏（神戸女子大学）

演題：「語用論と英語教育」

詳細については、同封の案内をご覧ください。

■ JACET共催セミナー 関西英語教育学会 第12回卒論・修論研究発表セミナー ■

日時：2月14日（土）9時受付開始（予定）

会場：関西大学千里山キャンパス

参加費：会員，非会員とも無料

内容：1．学部生による卒業論文および大学院生による修士論文発表

2．スペシャルトーク

「私たち外国語教育に関わる者は、何を、なぜ、どう研究すべきか ―日本の外国語教育を縦断的・横断的に斬る―」

森住 衛 先生（桜美林大学大学院教授，
大学英語教育学会会長）